

**I 出題の意図**

九段中等教育学校の昨年度の適性検査問題（I）に準じています。

**II 出題傾向**

- ・問題数：2 題／100 点満点
- ・1 題目（物語文の読解）：
  - ①内容把握問題  
登場人物の心情の理解に関する問題（穴埋め・記述式）・2 問程度
  - ②文章をふまえた作文問題  
本文の内容をふまえた短い作文問題（50～60 字程度）・1 問
- ・2 題目（説明文の読解）：
  - ①内容把握問題  
筆者の主張の要旨の理解に関する問題（記述式）・1 問  
文章の構造（文と文のつながり）の把握に関する問題・2 問程度
  - ②文章をふまえた作文問題  
筆者の主張をふまえて自分の考えを述べる作文問題（200～240 字程度）・1 問

**III 出題する文章の傾向**

・物語文は、易しく読みやすい内容です。説明文は物語文よりもやや難しいですが、どちらも身近なことがらをテーマとしています。

**IV 採点基準**

- ①内容把握問題  
模範解答に準ずる解答には部分点が与えられます。
  - ②文章をふまえた作文問題  
**減点対象となる場合**
    - ・誤字・脱字がある場合。
    - ・字数超過（制限字数枠をはみ出した場合）。
    - ・極端な字数不足（制限字数の半分に満たない場合）。
- ※自分の意見を述べる問題では、以下が減点対象となることはありません。

- ・書き出しは1マス目から始めても、1マス空けて始めてもよい。

○ ○ ←どちらも可

|   |   |
|---|---|
| 私 |   |
| は | 私 |
| こ | は |

- ・行の最後の句読点は、枠外でも枠内でもよい。

○ ○ ←どちらも可

|   |    |
|---|----|
| い | い  |
| ま | ま  |
| す | す。 |

。

**V 得点するための対策**

- ・課題文の内容を正確にとらえることが大切です。国語の問題集を用いて説明文の問題に取り組みましょう。
- ・自分の考えをわかりやすく伝えるために、論理的な文章構成（序論・本論・結論）で書けるようにしましょう。



## 適性 A2

### 出題構成と配点例

大問は算数が主の1問と社会が主の2問で合計3問、全体で20問程度出題します。

答え方は計算結果の単答や記号の選択、理由や考え方の記述、図示などです。

大問ごとの配点は全体の3分の1ずつ、観点ごとの配点は生活知識・理解が少なく、思考・表現と数的処理が主となります。

### 傾向

ほとんどの問題が、会話文・問題文を読み取る総合問題です。問題の数は増えていますが、長文の記述問題が減り、記号選択や空欄に適語を記入する形式が増加しています。作図の問題はA2またはA3で出題します。

問題は生活知識・理解、思考・表現、数的処理の3つの観点に分類されますが、生活知識、理解にあたる問題が少ないので昨年度に続き数的処理と思考・表現の問題が主となる予定です。

### 対策

資料を分析する力と自分の考えを述べる力を身につけましょう。問題文で問われていることを正確に捉え、資料やグラフからその答えを見つけ出す読解力が重要です。また、問題文で与えられた条件を見落とさず、丁寧に考えて計算する習慣をつけましょう。

# 2020年度中学入試

## 適性 A3



### 出題構成と配点例

大問は3問（理科を下地にしたものが2問、算数を下地にしたものが1問）、それぞれ6、7問前後で構成しています。答え方は単答、理由や考え方の記述、図示などになります。

問題ごとの配点は全体の3分の1ずつ、観点ごとの配点は生活知識・理解が少なめで、思考・表現と数的処理が主となります。

### 傾向

問題は生活知識・理解、思考・表現、数的処理の3つの観点に分類されます。昨年度の適性2では数的処理、思考・表現に当たる問題を多く出題しました。分析を踏まえて数的処理の割合が大きく、生活知識・理解の割合は小さくなる予定です。作図に関しては、出題する予定ですが、適性2、3のどちらで扱うかは未定です。

### 対策

身の回りのものや事柄について、日頃から関心を持つようにしましょう。成り立ちや理由にわからないところがあれば調べて解決するようにしておくといよいでしょう。また、問題文で与えられた条件を見落とさず、丁寧に考えて計算する習慣をつけましょう。